

平成23年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)
 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会
2. 課題番号または共同利用コード 2009-B-01
3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称
 和文: グローバル地震学
 英文: Global Seismology
4. 研究代表者所属・氏名 京都大学大学院理学研究科・中西一郎
 (地震研究所担当教員名) 綿田辰吾
5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日数	旅費 支給
中西 一郎	京都大学・教授	研究統括	1年間	365	無
高波 鐵夫	札幌学院大学・客員教授、東 京大学・客員教授	北大・屈斜路湖観測点 および北大・浦河地震 観測所のひずみデータ の連続収録	1年間	365	無
高波 鐵夫	札幌学院大学・客員教授、東 京大学・客員教授	北大・浦河地震観測所	2011/5/2-3	2	有
竹内 希	東京大学・准教授	波動理論	1年間	365	無
竹中 博士	九州大学・准教授	波動計算	1年間	365	無
小林 励司	鹿児島大学・准教授	波動計算	1年間	365	無
及川純	東京大学・助教	研究討論	2011/12/5-9	5	有
綿田 辰吾	東京大学 (所内担当教員)	研究討論			

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード：

歪地震計観測, 超広帯域地震計試作機, 3次元不均質地球波動伝播 _

1. 歪地震計観測. 北海道大学地震観測網の広帯域地震計(歪計・地震計)のグローバル地震観測用機器のデータをインターネットで収録した.
2. 日本地震学会でひずみ記録の解析結果を発表した.
3. 日本地球惑星連合大会でひずみ記録の解析結果を発表した.
4. American Geophysical Unionでひずみ記録の解析結果を発表した.
5. American Geophysical Unionで火山性地震の解析結果を発表した.
6. The First ICSU World Data System Conference (Kyoto University)でひずみ記録の解析結果を発表した.

7. 研究実績報告(公表された成果のリスト*¹または2000~3000字の報告書)

(*¹論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無、ポイント数、電子ファイル添付のこと)

(雑誌・学会・セミナー等での発表)

高波鐵夫・北川源四郎、微弱な歪み変化抽出のための状態空間アプローチ、「青い地球と白い大陸の地震学」、月刊地球、34、印刷中、2012. 3ポイント

Takanami, T., Kitagawa, G., Peng, H., Linde, A. T., and Sacks, I. S., A State-Space Approach to Explore the Strain Behavior Before and After the 2003 Tokachi-Oki Earthquake (M8), the Proceedings of the 1st ICSU WDS conference held in Kyoto, in printing, 2012. 3ポイント

高波鐵夫、極地における地殻・氷河の体積歪み観測、第31回極地地学シンポジウム、極地研究所、2011. 3ポイント

Takanami, T. and Kitagawa, G., State-Space Approach to Signal Extraction Problems in Seismology, in Application of Information Technologies to Data Systems, PS6-08, 2011. 3ポイント

Kitagawa, G., Takanami, T., and Matsumoto, State Space Approach to Signal Extraction Problems in Seismology, the 2011 Fall Meeting of Seismological Society of Japan, C31-09, 2011. 2ポイント

Takanami, T., Hirata, N., Kitagawa, G., Kamigaichi, O., Linde, A.T., Sacks, S. I., State Space Approach to Extraction of Genuine Strain Signal, the 2011 Fall Meeting of Seismological Society of Japan, P3-30, 2011. 2ポイント。

Takanami, T., Hirai, N., Kitagawa, G., Kamigaichi, O., Linde, A. I., Sacks, S. I., State Space Approach to Extraction of Genuine Strain Signal, the 2011 Fall Meeting of American Geophysical Union, G13A-0867, 2011. 2ポイント

J. Oikawa, A. Watanabe, H. Tsuji, Y. Morita, T. Koyama, T. Ohminato, M. Takeo, S. Nakada, Y. Aoki and M. Ichihara, Volcanic earthquakes and tremor associated with the 2008-2011 Shinmoe-dake eruption in Kirishima volcano group, Japan, the 2011 Fall Meeting of American Geophysical Union,

Takanami, T., Hirata, N., Kitagawa, G., Kamigaichi, O., Linde, A. I., and Sacks, **S.I.**, A strain behavior before and after the 2009 Suruga-Bay earthquake (M6.5), SSS32-03, the 2011 Meeting of Japan Geoscience Union, 2012. 2ポイント